

## 寅さん歩 その 23

### 東京の博物館めぐりー13

#### 新宿区ー2



平野 武宏

新宿区の博物館めぐりの続きです。臨時休館中だった博物館は新型コロナウイルス拡大防止の対策を実施して再開館しました。来館者は検温・手の消毒・来館のお願い事項の資料をもらい・来館者カードに氏名及び連絡先電話番号を記載して提出します。館内はマスク着用とソーシャル ディスタンス（2 m）を保つての見学です。なお、一部の博物館は臨時休館の継続です。

写真右上は新宿区にある東京都庁です。区内に多くある博物館（記念館・資料館・展示館等を総称します）から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。博物館の多くは内部の撮影が禁止となっています。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。

入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

東京 2020 オリンピック聖火リレー東京都コース バーチャルウォークの途中経過も報告します。

【新宿歴史博物館】 新宿区三栄町 22 最寄駅 新宿線 曙町駅 A4

「靖国通り」から「津の守坂」を上ると途中に「新宿歴史博物館」の案内表示石（写真下左）がありました。写真下右は「新宿歴史博物館」入口です。



「新宿歴史博物館」は武蔵野の一原野から、今日の新しい都心へと変容した新宿区の「まちの記憶」を多くの人々と共有し、未来へと継承していくため 1989 年

(平成元年) 1月に設立されました。旧石器時代から江戸時代・明治時代などを経て、現代に至るまでの新宿区史に関する資料や、区内の文化財の常設展と特別展を開催しています。新宿区を理解するため、博物館の再開館スタートに訪問しました。館内には撮影可のスポットがあり、写真下左は内藤新宿の復元模型、写真下右はかつての都電の実物です。



企画展示室では「お江戸のなんでもランキング」を開催（無料）。  
開館時間は 9 時 30 分～17 時 30 分、休館日は第 2・第 4 月曜日（祝休日の場合は翌火曜日）、常設展観覧料は一般 300 円、小・中学生 100 円。（特別展は別途）

**【消防博物館】** 新宿区四谷 3-10 最寄駅 丸ノ内線 四谷三丁目駅 2 番

「四谷三丁目」交差点の「四谷消防署」内にある東京消防庁所管の「消防に関する博物館」です。江戸時代の火消しから最新の消防隊の装備まで消防の歴史を集結し、消防車・消防ヘリコプターの展示、防災対策が紹介されています。「消防の歴史を追うならば上からの見学がお薦め」との言葉で 5 階消防の夜明け（江戸の火消）から地下 1 階の消防自動車の変遷までじっくりと楽しみました。館内の撮影は可です。お天気の良い日には 10 階防災ラウンジから新宿副都心の眺めも楽しめます。写真下左は馬曳き蒸気ポンプ車、写真下右は現在の消防車です。



開館時間は 9 時 30 分～17 時（当面は 16 時まで短縮）、休館日は毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末・年始（12 月 29 日～1 月 3 日）です。

**〔漱石山房記念館〕** 新宿区早稲田南町 7 最寄駅 東西線 早稲田駅 1 番

「漱石山房記念館」（写真下左）は「早稲田通り」から右に入った「漱石山房通り」を進み、区立早稲田小学校の先にあります。明治の文豪 夏目漱石は新宿区で生まれ育ち、晩年の 9 年間を過ごした「漱石山房」と呼ばれた旧居跡に生誕 150 周年を記念して 2017 年（平成 29 年）9 月 24 日に記念館が建てられました。開館は 10 時～18 時、休館日は月曜日（休日の場合は翌日）、年末年始です。通常展観覧料は一般 300 円、小中学生 100 円、特別展は別途です。敷地の一部は区立漱石公園（写真下右）が整備され、入り口には漱石の胸像がありました。



1 階は導入展示で「三四郎」「こころ」「道草」など数々の代表作が執筆された「漱石山房」の一部を再現、2 階は漱石を紹介する展示室、B1 階は図書室です。

**〔林芙美子記念館〕** 新宿区中井 2-20-1 最寄駅 大江戸線 中井駅 A2

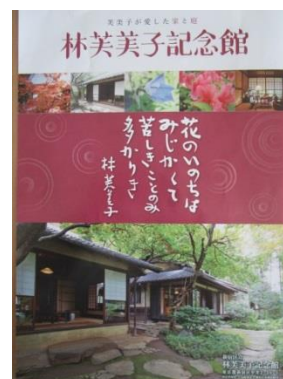
大江戸線中井駅から西武新宿線中井駅を越して突き当りの「中井通り」を左折、「四の坂」角の案内板（写真下左）を右折、左手にある記念館入口（写真下右）です。

「放浪記」「浮雲」などの代表作で知られる作家 林芙美子が 1941 年（昭和 16 年）～1951 年（昭和 26 年）6 月 28 日にその生涯を閉じるまで住んでいた家を 1992 年（平成 26 年）3 月 22 日区立記念館として開館、資料を展示しています。開館は 10 時～16 時 30 分、休館日は月曜日 8 休日の場合は翌日）年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）。入場料は一般 150 円、中学生 50 円です。





1922年（大正11年）上京して以来、多くの苦勞をしてきた芙美子は1930年（昭和5年）落合の地に移り住み、1939年（昭和14年）この土地を購入し、新居を建築し始めました。新居建築当時、建坪の制限があったため、芙美子名義の生活棟と画家であった夫 緑敏名義のアトリエ棟をそれぞれ建てました。芙美子は建築について勉強し、設計者や大工を連れて京都の民家を見学に行ったり、材木を見に行くなどその思い入れは格別でした。数寄屋造りの細やかさが感じられる京風の特徴と、芙美子らしい民家風のおおらかさを併せ持ち、落ち着いたある住まいになっています。芙美子の終の棲家となったこの家は客間よりも茶の間と風呂と厠と台所に工夫とぜいを凝らし創作活動と同様に生活を大切にされた芙美子の思いを外から見るすることができます。アトリエは展示室で芙美子の資料を展示公開しています。靴を脱いで上がれます。



【平和祈念展示資料館】 新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33 階

最寄駅 大江戸線 都庁前駅 A6

都庁前駅 A6 から「新宿住友ビル」地下 1 階は直結ですが、右手のエスカレーターで地上に出てビルの正面から入り、33 階に止まるエレベーターに乗ります。

写真下左はA6の通路にある「平和祈念展示資料館」案内、右は正面入口です。



新宿住友ビル（写真下右）は1974年（昭和49年）に竣工、地上52階、地下4階の新宿高層ビル街の草分け的な存在です。「平和祈念展示資料館」はさきの大戦における兵士、戦後強制抑留者および海外からの引揚者の労苦について、親から子へ、子から孫へ、そして次世代へ語り継いでいくことを目的として、2000年（平成12年）11月に作られた総務省委託の展示場です。数々の生々しい展示がありました。写真下左・中は平和展示資料館の入口です。



開館は9時30分～17時30分、休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）、新宿住友ビル全館休館日です。あらためて「戦争は繰り返してはならない」という強い思いと「平和のありがたさ」を実感した寅次郎でした。

### 【バーチャルウォーク途中経過】

八柳修之さんの東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県コース（380km）と東京都コース（160km）のバーチャルウォークがFWAホームページに「YR・四季の道」に掲載されました。東京2020オリンピック・パラリンピックは2021年に延期となり、予定の聖火リレーは中止となりましたが、バーチャルウォークの聖火リレーは健在です。

寅次郎、東京都コース（160 km）に挑戦、5月14日世田谷区駒沢のオリンピック公園をスタート、世田谷区、狛江市、稲城市、町田市、多摩市、日野市、昭島市、八王子市、檜原村、奥多摩町、日の出町、青梅市、瑞穂町、羽村市、あきる野市、福生市、武蔵村山市、立川市、国立市、国分寺市、小平市、東大和市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市、小金井市、府中市、調布市（都下島しょ部は省略）、三鷹市、武蔵野市、杉並区、中野区、練馬区、豊島区、板橋区、北区、足立区、葛飾区、江戸川区、墨田区、荒川区、台東区、文京区、千代田区、中央区、江東区、大田区、品川区、目黒区、渋谷区、港区を経て7月5日ゴールの東京都庁（160 km地点）に到着しました。



神奈川県コース 380 kmと合わせて540 kmの聖火リレーコースを完歩しました。

歩いた距離に合わせて1マス(1 km)毎に塗りつぶして進むのはバーチャルウォークの楽しみです。

次のバーチャルウォークは「中山道六十九次」に挑戦します。

しばらくは例会やYRがお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

また、ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にご注意ください！

今回は 博物館めぐり-14 です。

平野 寅次郎 拝